



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月14日

上場会社名 乾汽船株式会社
 コード番号 9308 URL <http://www.inui.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレートマネジメント部長
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 乾 康之
 (氏名) 加藤 貴子

TEL 03-5548-8613

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	14,992	12.5	197	—	△40	—	58	41.3
29年3月期第3四半期	13,321	△16.5	△1,480	—	△1,385	—	41	—

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 301百万円 (—%) 29年3月期第3四半期 △184百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	2.37	—
29年3月期第3四半期	1.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	48,182	18,337	38.1	738.17
29年3月期	48,226	18,527	38.4	739.15

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 18,337百万円 29年3月期 18,527百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
30年3月期	—	3.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	4.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,539	14.8	779	—	461	—	568	—	22.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	26,072,960 株	29年3月期	26,072,960 株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	1,231,107 株	29年3月期	1,007,587 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	24,912,072 株	29年3月期3Q	25,066,308 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想(平成30年3月期の連結業績予想)については、平成29年11月9日公表の数値から修正しております。詳細については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(表示方法の変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済環境は、米国では雇用環境の改善や個人消費の拡大が続く、欧州では設備投資など内需を中心に景気の回復が続きました。中国では当局による金融引締め等の影響により、成長ペースは緩やかな減速となりました。日本経済においては、堅調な企業業績を背景に、雇用・所得情勢は改善傾向にあり、景気は緩やかな回復基調を維持しています。

このような状況下、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績におきましては、売上高は14,992百万円、営業利益は197百万円、経常損益は40百万円の損失、親会社株主に帰属する四半期純利益は58百万円となりました。

当社グループのセグメント別の業績は以下の通りであります。

①外航海運事業（ロジスティクス）

外航海運事業におけるスモールハンディ船の市況は、前年度第1四半期以降、堅調に推移しており、回復基調を維持しております。

このような状況下、当社グループの外航海運事業におきましては、売上高は前年同期比1,969百万円増収（+30.1%）の8,518百万円、セグメント損益は前年同期から1,618百万円改善し、951百万円の損失となりました。

②倉庫・運送事業（ロジスティクス）

物流業界におきましては、貨物保管残高は前年同期と概ね同水準で推移し、貨物取扱量は前年同期を上回る水準で推移いたしました。

このような状況下、当社グループの倉庫・運送事業におきましては、新規荷主の獲得効果もありましたが、連結子会社であるイヌイ運送株式会社における引越事業の取扱高の減少等により、売上高は前年同期比309百万円減収（△9.1%）の3,085百万円、セグメント損益は前年同期比14百万円減益の17百万円の損失となりました。

③不動産事業

都心部の賃貸オフィスビル市況は、空室率は低水準で推移しており、賃料水準も小幅な上昇が続いております。また、東京23区の賃貸マンション市況は前年同期を若干上回る水準で推移いたしました。

このような状況下、当社グループの不動産事業におきましては、既存賃貸物件の安定した高稼働により、売上高は前年同期比11百万円増収（+0.3%）の3,388百万円、セグメント利益は前年同期比35百万円増益（+2.0%）の1,786百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、船舶取得に伴い有形固定資産が増加したものの、現金及び預金の減少等により前連結会計年度末比44百万円減の48,182百万円となりました。負債は借入金の増加等により前連結会計年度末比145百万円増の29,844百万円となりました。純資産は、利益剰余金の減少等により前連結会計年度末比189百万円減の18,337百万円となりました。

この結果、自己資本比率は38.4%から38.1%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して2,765百万円減少し、10,356百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結累計期間における営業活動の結果として得られた資金は、1,723百万円となりました。これは主として、仕入債務の減少額383百万円及び非資金損益項目である減価償却費2,133百万円等によるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結累計期間における投資活動の結果として使用した資金は、4,572百万円となりました。これは主として、固定資産の取得による支出等によるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結累計期間における財務活動の結果として得られた資金は、59百万円となりました。これは主として、長期借入金の返済及び調達等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期(平成30年3月期)の連結業績予想につきましては、第3四半期連結累計期間の実績及び最近の業績動向等を踏まえ、平成29年11月9日に公表した前回発表予想を以下の通り修正いたしました。

外航海運事業においては海運先物市場に連動させた市場見込みとしております。

平成30年3月期通期連結業績予想値の修正(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 20,695	百万円 879	百万円 519	百万円 581	円 銭 23.34
今回発表予想(B)	20,539	779	461	568	22.82
増減額(B-A)	△156	△100	△58	△13	—
増減率(%)	△0.8	△11.4	△11.2	△2.2	—
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期)	17,889	△2,179	△2,346	△880	△35.12

なお、為替、燃料油価格の予想前提は以下の通りです。

	当連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	第4四半期前提 (自平成30年1月1日 至平成30年3月31日)
為替レート(円/1米ドル)	¥111.38	¥111.00
燃料油価格(米ドル/MT)	US\$319.19	US\$396.00

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,304	10,539
営業未収金	1,118	1,114
繰延及び前払費用	541	616
貯蔵品	596	444
その他	1,019	717
貸倒引当金	△2	△6
流動資産合計	16,578	13,427
固定資産		
有形固定資産		
船舶(純額)	10,206	13,054
建物及び構築物(純額)	9,738	9,631
土地	984	981
信託建物及び信託構築物(純額)	4,416	4,269
信託土地	204	204
建設仮勘定	904	1,356
その他(純額)	384	362
有形固定資産合計	26,840	29,860
無形固定資産	281	313
投資その他の資産		
投資有価証券	3,894	3,979
退職給付に係る資産	7	22
その他	623	580
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	4,525	4,581
固定資産合計	31,647	34,754
資産合計	48,226	48,182

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	1,443	1,059
短期借入金	2,980	2,810
1年内返済予定の長期借入金	1,631	1,436
仮受金	17	1,086
未払法人税等	181	-
賞与引当金	103	27
用船契約損失引当金	303	266
その他	756	1,227
流動負債合計	7,417	7,914
固定負債		
長期借入金	16,043	17,141
繰延税金負債	572	597
退職給付に係る負債	56	60
受入保証金	1,392	1,408
長期前受収益	560	560
長期仮受金	1,047	-
特別修繕引当金	203	224
用船契約損失引当金	451	256
長期割賦未払金	1,627	1,553
その他	326	126
固定負債合計	22,281	21,929
負債合計	29,699	29,844
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,767	2,767
資本剰余金	11,625	11,625
利益剰余金	4,110	3,869
自己株式	△1,010	△1,201
株主資本合計	17,493	17,061
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	572	795
繰延ヘッジ損益	16	31
為替換算調整勘定	445	449
その他の包括利益累計額合計	1,033	1,276
純資産合計	18,527	18,337
負債純資産合計	48,226	48,182

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	13,321	14,992
売上原価	13,731	13,847
売上総利益又は売上総損失(△)	△409	1,144
販売費及び一般管理費	1,070	946
営業利益又は営業損失(△)	△1,480	197
営業外収益		
受取配当金	117	74
船舶燃料受渡精算金	163	-
その他	99	48
営業外収益合計	380	123
営業外費用		
支払利息	255	200
その他	29	161
営業外費用合計	285	361
経常損失(△)	△1,385	△40
特別利益		
投資有価証券売却益	1,795	7
子会社清算益	-	18
保険解約返戻金	-	24
その他	21	3
特別利益合計	1,816	53
特別損失		
投資有価証券売却損	570	13
その他	14	4
特別損失合計	585	17
税金等調整前四半期純損失(△)	△153	△3
法人税、住民税及び事業税	163	△3
法人税等調整額	△359	△59
法人税等合計	△195	△62
四半期純利益	41	58
親会社株主に帰属する四半期純利益	41	58

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	41	58
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△314	223
繰延ヘッジ損益	133	14
為替換算調整勘定	△45	4
その他の包括利益合計	△226	242
四半期包括利益	△184	301
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△184	301
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△153	△3
減価償却費	2,084	2,133
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1	3
賞与引当金の増減額(△は減少)	△62	△75
特別修繕引当金の増減額(△は減少)	49	21
用船契約損失引当金の増減額(△は減少)	△237	△231
受取利息及び受取配当金	△132	△89
支払利息	255	200
船舶燃料受渡精算金	△163	0
固定資産売却損益(△は益)	△17	△1
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,224	5
売上債権の増減額(△は増加)	355	4
繰延及び前払費用の増減額(△は増加)	40	△62
貯蔵品の増減額(△は増加)	153	151
未払金の増減額(△は減少)	5	0
仕入債務の増減額(△は減少)	△60	△383
未払又は未収消費税等の増減額	△613	376
預り敷金及び保証金の増減額(△は減少)	△64	16
その他	12	△30
小計	228	2,036
利息及び配当金の受取額	131	91
利息の支払額	△263	△200
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△30	△204
営業活動によるキャッシュ・フロー	65	1,723
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	406	-
固定資産の取得による支出	△1,129	△4,910
固定資産の売却による収入	66	3
投資有価証券の売却及び償還による収入	4,425	207
子会社の清算による収入	-	30
その他	△12	96
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,757	△4,572
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△50	△170
長期借入れによる収入	575	2,131
長期借入金の返済による支出	△2,241	△1,304
配当金の支払額	△422	△290
自己株式の取得による支出	△0	△190
その他	△95	△116
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,235	59
現金及び現金同等物に係る換算差額	135	24
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,722	△2,765
現金及び現金同等物の期首残高	10,266	13,121
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,988	10,356

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結キャッシュフロー計算書)

前第3四半期連結累計期間において、財務活動によるキャッシュ・フローの「短期借入れによる収入」及び「短期借入金の返済による支出」は総額表示しておりましたが、期間が短く、かつ、回転が速い項目であるため、第1四半期連結会計期間より「短期借入金の純増減額(△は減少)」として純額表示することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第3四半期連結累計期間の連結キャッシュ・フロー計算書において、財務活動によるキャッシュ・フローの「短期借入れによる収入」に表示していた540百万円及び「短期借入金の返済による支出」に表示していた△590百万円は、「短期借入金の純増減額(△は減少)」△50百万円として組み替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ロジスティクス		不動産 事業	計		
	外航海運 事業	倉庫・運送 事業				
売上高						
外部顧客への売上高	6,549	3,394	3,377	13,321	—	13,321
セグメント間の売上高又は振替高	—	4	23	27	△27	—
計	6,549	3,399	3,400	13,348	△27	13,321
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△2,569	△2	1,751	△821	△659	△1,480

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△659百万円は、各報告セグメントに配分しない全社費用△659百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ロジスティクス		不動産 事業	計		
	外航海運 事業	倉庫・運送 事業				
売上高						
外部顧客への売上高	8,518	3,085	3,388	14,992	—	14,992
セグメント間の売上高又は振替高	—	—	23	23	△23	—
計	8,518	3,085	3,411	15,015	△23	14,992
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△951	△17	1,786	817	△619	197

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△619百万円は、各報告セグメントに配分しない全社費用△619百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。